

別紙 2

介護保険事業支援計画に記載した、市町村が行う自立支援、介護予防又は重度化防止及び介護給付の適正化に関する取組の支援についての目標（令和7年度）に対する自己評価結果

都道府県名： **福井県**

ア 取組の支援についての自己評価結果
項目名
支え合いによる地域共生社会の推進
目標を設定するに至った現状と課題
<p>本県の高齢化の状況は、全国平均よりも約5年ほど先行して推移しているが、健康寿命は上位で、就業や社会参加への意欲を持ち続ける高齢者も多く、3世代同居や持ち家の比率が高いことから家族や地域のつながりが固いという特徴があげられる。こうした本県の生活を支える地域資源の特徴を最大限に活かし、地域住民がみんなで支え合う次世代型の地域包括ケアシステムの実現を図る。</p>
取組の実施内容、実績
<p>〔R7年度実績〕</p> <p>○地域の支え合いによる高齢者の外出支援実施市町数 7市町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援コーディネーターの活動を支援するため、専門家からのアドバイスや、県内外の事例報告、グループワークなど人材育成研修を実施 ・生活支援コーディネーター同士が活動状況や課題を共有するための情報交換会を開催 ・第2層協議体立ち上げ支援のための講師派遣は、市町からの希望がなかった。 ・地域住民が主体となった高齢者の外出付添サポート事業として、フォーラムや活動支援（補助）を実施
自己評価
<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援コーディネーター育成研修として初任者向け、現任者向けの他、SC間のネットワーク強化を目的とした情報交換会など体系的に開催した。 ・2市町において県の補助金を活用し、住民主体の新たな移動支援サービスが開始された。

※複数項目に分ける場合には、項目ごとに様式を分けて記入する。

イ 管内保険者の自己評価結果の概要
<ul style="list-style-type: none"> ・第2層協議体については、市町間で進捗に大きな差がある。また同一市町内でも地区により取組状況が違っており、横展開が課題 ・外出支援については必要性を実感している市町が多いものの、制度理解が難しいことや、車両や運転手(担い手)不足、安全確保への懸念等からあまり進んでいない。

ウ まとめ（ア及びイから考察した現状・課題と対応策）
<ul style="list-style-type: none"> ・市町の基盤づくりのため、生活支援コーディネーターの研修等を継続 ・第2層協議体立ち上げ支援のための講師派遣は、令和7年度は実績がなかったことから、協議体の活動充実のためのスポット支援として活用の幅を拡大する。 ・外出付添サポート事業においては、活動創出に向けて、好事例の共有や補助金の活用を促進し、県内での横展開を進めていく。 ・生活支援コーディネーターの活動が地域づくりにもたらす成果を具体的にイメージできるよう地域ケア会議研修との効果的な連動を図っていく。

別紙 2

介護保険事業支援計画に記載した、市町村が行う自立支援、介護予防又は重度化防止及び介護給付の適正化に関する取組の支援についての目標（令和7年度）に対する自己評価結果

都道府県名： **福井県**

ア 取組の支援についての自己評価結果	
項目名	
高齢者の健康増進・介護予防・重症化防止の強化	
目標を設定するに至った現状と課題	
本県では、軽度の要介護認定率が全国平均より低いものの、重度の要介護認定率が全国平均と同程度になっていることから、介護度が低い早期の段階に介護予防に介入することにより、重度化防止につなげていくことが必要	
取組の実施内容、実績	
<p>〔R7年度実績〕</p> <p>○フレイルチェック新規参加者：637名（実人数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふくいフレイルサポーターの会」の活動として、「フレイルチェック短縮版」の説明会を開催（サポーター70名、トレーナー13名、行政職員40名、計123名参加）。 ・県作業療法士会がフレイルチェックデータの分析を行い、市町ごとの比較検討を実施 ・フレイルチェック調査票（紙）の読みとりアプリを活用し、市町が行う入力作業を効率化 	
自己評価	
<ul style="list-style-type: none"> ・R7年度は、フレイルサポーターが新たに計104名養成され、新規参加者637人（2回目以降参加者を合わせると1,262名）にフレイルチェックを実施した。 ・各市町において、「フレイルチェック短縮版」を導入する（R8年度～）にあたり、説明会として、導入に至った背景や実施上の留意点、併せて、フレイルチェックデータの分析結果に基づくフレイルの実態や関連要因などのエビデンスの共有を行った。 	
※複数項目に分ける場合には、項目ごとに様式を分けて記入する。	
イ 管内保険者の自己評価結果の概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者だけでなく、若い世代にもフレイル予防について知ってもらう機会が重要 ・他の地域の先進事例や日頃の活動等について情報交換を行い、活動意欲の向上につなげる機会として、市町を超えたサポーター交流の場が必要 	
ウ まとめ（ア及びイから考察した現状・課題と対応策）	
<ul style="list-style-type: none"> ・「見える化レポート※」を活用することで、市町ごとのフレイル予防策を検討 ※R8.4東大IOG作成ツール：フレイルチェックデータを入力することで、各市町と全国値との比較のほか、医療費・介護費削減効果の推計値を出力できる ・市町に対しフレイル予防の活動補助を継続 ・「ふくいフレイルサポーターの会」の活動として、市町を超えたサポーター・トレーナー同士の交流の機会を継続し、各地でのフレイル予防を促進する。 ・あらゆる世代に関心を持ってもらうため、イベント等を通じてフレイル予防の普及を図る。 	

別紙 2

介護保険事業支援計画に記載した、市町村が行う自立支援、介護予防又は重度化防止及び介護給付の適正化に関する取組の支援についての目標（令和7年度）に対する自己評価結果

都道府県名： **福井県**

ア 取組の支援についての自己評価結果
項目名
地域における医療と介護の連携強化
目標を設定するに至った現状と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けることができるよう医療・介護を含む包括的な支援体制を構築することが必要 ・在宅医療に携わる専門職の育成や多職種間の連携の促進などにより、今後の在宅ケアの需要の増加に対応できる体制の整備・強化が重要
取組の実施内容、実績
<p>[R7年度実績]</p> <p>○在宅で医療・介護を受ける者の数(訪問看護の利用者数):7,899人(R7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅ケアに関する多職種研修会を、県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、県栄養士会に委託して実施し、在宅医療を担う専門職種の育成を推進するとともに、多職種の交流と連携を促進 ・「つぐみ(福井県版エンディングノート)」を活用して、医療・介護従事者や県民にACPの重要性について普及することで、もしもの時に患者本人や家族等が希望する医療・ケアが受けられる環境づくりを推進 ・前年度の調査や意見交換で明らかになった課題(介護施設等における医療的行為、在宅医療を担う医師・診療所の不足、ACPの普及等)について、地域の病院・診療所・介護関係事業所・市町などが保健所圏域ごとに集まり、現状や対策について具体的に協議する場を設置し、地域ごとに対応策を検討
自己評価
<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護の利用者数は目標を超えて増加(R7目標:7,391人) ・全ての保健所で、医療・介護連携の課題と対応策を協議(計12回)

※複数項目に分ける場合には、項目ごとに様式を分けて記入する。

イ 管内保険者の自己評価結果の概要
<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療・介護（施設サービス含む）の提供状況について、数字上は一見良好で、今後の必要量の増加にも対応可能であると見込んでいるが、一方で現場からは、転院や入院から在宅医療・介護への移行がスムーズに進んでいないとの意見があることから、現状と課題について関係者の協議による具体的な対応が必要
ウ まとめ（ア及びイから考察した現状・課題と対応策）
<ul style="list-style-type: none"> ・R8年度は、かかりつけ医機能報告制度に基づく「医療・介護連携会議」を地域医療構想にかかるWGとして新たに設置し、地域の医療・介護資源の実態や課題の共有・検討を行っている。

① 項目名 支え合いによる地域共生社会の推進

〔目標と実績〕

地域の支え合いによる高齢者の外出支援実施市町数：全17市町		R5	R6	R7	R8
	実績	7市町	7市町	8市町	

② 項目名 高齢者の健康増進・介護予防・重度化防止の強化

〔目標と実績〕

フレイルチェック新規参加者数：年間700人以上		R5	R6	R7	R8
	実績	806人	765人	637人	

③ 項目名 地域における医療と介護の連携強化

〔目標と実績〕

訪問看護を受けた患者数：		R5	R6	R7	R8
7,600人（毎年9月）	実績	7,398人	7,658人	7,899人	